

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」

【 施策名： (1) 工事コストの低減 1) 工事の計画・設計等の見直し 技術開発の推進 】

法面掘削工における無人機械の開発によるコスト縮減

工事名：浦川溪岸山腹工工事

概要：不安定な長大法面の対策工事では、従来、安定勾配で大幅に掘削を行うか、人力により段階的に上部から対策工事を行ってきたが、高所法面掘削機械（ロッククライミングマシン）を活用することにより、大幅に掘削土量の低減を図るとともに、その機械を無人化することにより、安全性の向上と作業の効率化を図ることができた。

効果： 無人機械で施工することによる安全性の向上。

施工性の向上、工期短縮が図れる。

従来工法に比較してコスト縮減が図れる。

工事費を424.6百万円から326.6百万円に縮減。
(縮減額 98.0百万円、縮減率 約23%)



(無人機械による掘削状況)